

22年度もたくさんの児童・学生の皆さんがジュニア防災検定を受検してくださいました。  
こちらでは一部ではありますが、ジュニア防災検定を受験され、家族防災特別賞・防災自由研究優秀賞・成績優秀賞を受賞された方々とその保護者様からの感想と防災自由研究の作品をご紹介します。

### 家族防災レポート

ご家庭や地域、学校などの防災について話し合ったり聞いたり、調べたりしたことをレポートにまとめて頂いております。

### 防災自由研究

防災をテーマにより詳しいレポート、新聞（個人・グループ作成）、ポスター、標語などそれぞれが自由に取り組んでいただいています。

ジュニア防災検定を受検することで、ご家族や地域など周りの方々と防災を考えるきっかけにいただき、日ごろの備え、いざという時に自分の命を守る行動がとれるようになってほしいと思っています。

当協会も、いただいたご感想やご意見を励みに、防災教育に取り組んでいく所存です。  
今後ともよろしく願いいたします。

一般財団法人防災教育推進協会

# 22年度 合格者の皆様からの感想

大阪府泉佐野市立大木小学校4年

藤原 優希さん

家族でキャンプに行った時に、缶詰ランプを作りました。  
缶詰のランプが災害にあった時の非常用の、ちょっと楽しめる防災グッズになることが分かりました。1缶で約40分も火がともっていました。  
災害にはできるだけならないように祈ります。

保護者様の声

今回、ジュニア防災検定を通して、夏休みに家族で防災について話し合う機会を頂いたこと感謝申し上げます。防災グッズに何が役立つかを話し合い、図書館で調べ、キャンプ場で実践しました。夏休みも終わり日常生活がもどった頃、日経新聞に我が家が防災グッズとして取り組んだ「缶詰ランプ」が掲載されておりとても嬉しく思いました。これからも、防災について家族で話し合う機会を設けたいと思います。



# 岡山トヨタ自動車株式会社様にて受検

## 築山 虎次郎さん（岡山県倉敷市立新田中学校2年）



防災検定を受けて良かったです。防災についてより深く学びたいし合格できました。その上「防災自由研究優秀賞」まで頂き大変嬉しいです。実際に災害が身近で起こっても臨機応変にまた、冷静に判断し、周りの人に気を配りながら行動したいと思います。今回の経験でより防災を意識するようになりました。これからも防災意識を高く、地域全体で防災に取り組んでいきたいです。ありがとうございました。

### 保護者様の声

ありがとうございました。防災について日頃より話合っている方だと思います。夏休みにこのような体験が出来良かったです。学校などで学んでいる事もあると思いますが実際にテストをすることでより防災について考えたり、話し合うことが出来ました。また機会があれば次の級に向け勉強し受験したいと思います。



## 和歌山県湯浅町立湯浅小学校4年 宮井愛仁華さん



私の住んでいる湯浅町のとなり町、広川町には、有名な稲むらの火で知られる、濱口梧陸記念館があります。私は、幼稚園の頃から、地震の映画や津波の模型を見たりして、大地震のこわさを知っていました。防災についての勉強をしていくうちに、自分の命を守ることの大切さを深く知ることができて、良かったと思います。そして今回、防災検定合格とたくさんの賞をいただけたことが嬉しかったです。

### 保護者様の声

この度は、賞をいただきありがとうございます。  
改めて家族みんなで話し合い、防災の意識を高め、  
意見を出し合う、良い機会になりました。

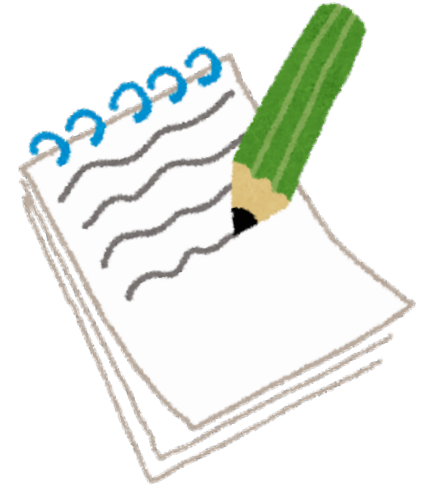
「自助」・「共助」・「公助」という取り組みが  
ある事も初めて知りました。

これからも自然災害に備えて知識を活用できれば  
いいと思います。



# 和歌山県湯浅町立湯浅小学校4年 新古 実央

地震や津波について、インターネットで調べたり、動画を見たりしました。大きな地震がきたら、まず自分の体を守ること、それから津波のきけんがあれば高い場所に急いでにげるのが大事だと分かりました。災害で、電気・水道・ガスが使えなくなる場合もあるので、日ごろから非常用品を用意することを心がけます。



## 保護者様の声



子供と一緒に、地震や津波について考える良い機会になりました。大地震が起きても、家具の転倒などは留め付けたりあることで自前に防げるので、今一度、家の中を見直そうと思いました。自宅近辺は、南海トラフ巨大地震があった場合、2.0~3.0mの津波が来ると予想されています。日頃から、家族で避難場所や避難経路を確認しておき、非常用品なども不足がないように備えるようにします。

## 静岡県浜松市立雄踏中学校1年 宮崎 結愛さん

私は、防災検定を通し、全く考えていなかったことを考えるようになりました。  
私は、家で巨大地震がおきたらどうやって避難しようかと家族と話し合いました、  
家の中の危険な場所を調べ、どこが危険かもマップにしてつくりました。  
私が思うよりも基本的な地震対策が行われておらず、危険だったことが  
分かったのでいい機会だったと思いました。  
家の中以外にも外壁や瓦など外にもまだまだたくさん危険な場所が  
あるので、もっと家族と話し迅速に安全な避難を心がけたいです。



### 保護者様の声

この度は、家族防災特別賞を頂きまして、誠にありがとうございます。  
幼い頃から「静岡県は地震が来る、来る」と言われ育ちましたが、どこか他人事でした。  
しかし、阪神淡路大震災、東日本大震災、各地で起る大震災の恐しさを目の当たりにして、  
日頃から、避難経路の確保、避難訓練が、命を守るためには、いかに大事なことを  
通感しました。家には、高齢者が住んでいるので、まずは、家具類の転倒、落下防止など  
家での危険について、確認し、家から外へ出るための経路について、娘と話し合いました。  
これを機に、災害から命を守り生き残るための知識や行動を身につけていきたいと思っております。

# 茨城県稲敷市立新利根小学校5年



小島 結奈さん

私は、ジュニア防災検定を通して、家族みんなで話し合い意見を聞き、災害や防災について、より知識を深めることができました。特に気づかされたのは家族の集合場所です。家族みんなが1か所から場所別に入るときに「災害が起きたら、どうするかたくさん話し合いました。

保護者様の声



防災について家族で話し合うきっかけになりました。災害時の集合場所を決めた時、子どもに「1日中は待てない」と言われ、場所の他に時間も決めました。自分にはない考え、想像力をもっている子どもと話し合うことで、より自分達に合った防災になりましたと思います。

大貫 煌月さん

わたしは、台風についてあまり興味をもっていませんでした。また、家で台風に対してどんな対策をしているのかわかりませんでした。今回のことをきっかけに、台風という自然災害について知ることができたので、よい経験になりました。これからは、台風のことについてしっかり考えて、自分でも台風に対して、どのような対策をすればよいのか考えていきたいと思います。

保護者様の声



ニュースなどでは「災害を見ることは多くありますが、家族で災害時の約束事や備えについて話す機会はありませんでした。今回、このような取組があったおかげで、家族で災害時にとる行動や何を備えておかなければいけないのかをしっかりと考えることができました。



# 大阪府泉佐野市立上之郷小学校 4年



真瀬 陽規さん

川端 寿々奈さん

防災検定の特別賞を受賞してとてもうれしかったです。家族と防災について話をしたり、家の防災グッズを見せてもらって災害がおこったときに対応できるようにがんばっていることが分かりました。これからももしも災害がおこったときに防災について習った勉強をいかして行動하겠습니다。

私は、『防災ジュニア検定』を合格することができて『賞』ももらうことができてとてもうれしかったです。台風でひかりをうけた時にまどがガラスが割れたり、外の物がとんできたりしてとてもこわい思いをしました。その時は防災グッズのじゅんぴがちゅんとしてきていけなかったのでもうこれからはきちんとじゅんぴをしておかなければいけないと思いました。

保護者様の声



昨日も、トルコ、シリアで大きな地震があり、たくさんの方々が命を失いました。日本でもこの子供たちが生まれる前に東日本大震災がありました。もし、日中に災害があり、22時を過ぎないとなった時に、まずどこに集まるかなど、災害に対して具体的な実践を持って、話をすることが大切だと改めて感じました。

保護者様の声



この度は、このような賞をいただきありがとうございました。夏休みの防災新聞の宿題をきっかけに、いつ起こるかわからない災害に対して、日頃からいろいろと準備をしておくことの大切さを改めて考え直すことができました。まだまだ準備不足なことがあることにも気がつくことができたので、今後も防災に対する意識を高めていかなければいけないと思いました。





# 静岡県浜松市立庄内中学校 2年

## 杉浦 啓太さん

学校が湖の近くに位置していることもあり、学校の授業の一環として発表した内容をまとめたレポートでこの賞を頂けてとても光栄です。自分の住む町の防災に有効な避難場所について改めて考えることになりました。この研究結果から今後日ごと防災について考え、周りの人に周知して自分の防災に対する意識を上げていきたいと思います。これからもいつ何時も分らない大地震に向けて備えていきたいと思います。

### 保護者様の声

今まで幸運なことには大きな災害を体験することなく生活してきました。そのためか防災に関する意識は、かなり低かったように感じます。今回、息子が防災自由研究に取り組むにあたり、家族で「避難の仕方、場所、連絡方法、必要な防災グッズなど」具体的に話し合う良い機会となりました。南海トラフ大地震に備え、家族で決めた事をマニュアル化し、いつでも確認できるように準備できるといいなと思います。



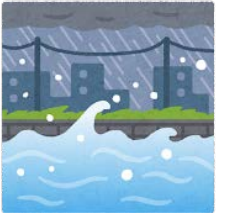
## 新村 旬規さん



もし、地震が起きたら、どのような所へ避難をすればいいのか、逃げればいいのかを小学生の頃から家族と学んできました。中学生になり、また家族と共に防災について話し合うことができてとても良い経験となりました。どのような対策をすればいいのかを話せたので、これからはその対策を実行していきたい。防災への意識を強くもって生活することを心がけていきたいと思います。

### 保護者様の声

この度は家族防災特別賞をいただきありがとうございました。小学三年生の時に自由研究でテーマにした「海拔表示の仕組み？」をきっかけに災害について日頃から家族で話し合いの共有を大切にしています。突然、どのような状況で起こり得るかわからないからこそ、避難方法の意識や知識、技術を得る必要があると思います。毎日の生活の中で自然に学べる様にこれからも家族で定期的に情報を更新し、対策や訓練を続けていきたいと思います。



# 浜松市立庄内中学校 2年



佐藤 央梧さん

この度は、このような賞をいただき、ありがとうございます。  
遊園地の災害対策の話聞いて、防災に対する意識の高さを感じました。  
大勢の人がいるため、それに対応できる備蓄や設備、避難場所を確保するのはよく準備しなければならないことだと思いました。また、実際に遊具稼働中に災害が起きた場合を想定して、従業員の方が避難・誘導訓練を行っているとのことでした。みんなが安心して楽しめるように、対策してくださっていることが分かりました。災害はよく準備することが大切だと学びましたので、家族でもよく話し合いたいと思いました。

保護者様の声

この度はこのような賞をいただき、ありがとうございます。  
地元の遊園地の災害対策を学び、防災に対する意識の高さを感じたようです。  
息子の話を聞き、普段から自分たちが直面する災害を想定した備えをしておくことが大切だと感じました。家族で、どんな災害が起こるか、どんな準備をしておくべきか、話し合う良い機会となりました。これからも定期的に話し合うことで、一人一人の防災への意識を高めていきたいと思っております。



高橋 凜さん

私は今年度、学校で行った防災についての調査で得られた一つの災害に特化した知識や初めて知った自分の地域の防災のことも多かったです。ですが今回のレポートを書いて、家族で話し合うからこそ重要になってくることや防災のイメージにとらわれない新しい視点からの話を聞くことができたなと改めて思いました。  
とてもいい機会でした。ありがとうございました。

保護者様の声

日本は、国土面積が世界全体の0.25%にもかかわらず、マグニチュード6以上の大地震の約20%が日本で発生します。台風による水害、雪害による停電など、日本が自然豊かなからこそ、大災害も多発発生します。  
東日本大震災では、県を跨いだ連携、国が率先して復興を進めていく必要性を体験しました。

被害が速やかに復旧される社会、築土構木の重要性を、国民の側から促していきよう。子供達も含め、皆で考える機会を作っていきます。

# 神奈川県大和市消防団 (大和市立中央林間小学校 6年)

## 榎本 実咲さん



家族防災レポートでは、我が家の防災食について調べました。自分の口に合うものもあれば、合わないものもありました。なので、日頃から非常時でも楽しく美味しく食べられるものを意識して備えることが大切だと思いました。そして、レポートで特別賞をまた他にも二つの賞をいただいたことは、嬉しかったです。取り組んで良かったなと思いました。

### 保護者様の声

防災検定を受けるに当たり、家族で防災について話し合う時間もつことができました。昨年は171ダイヤルと公衆電話の使い方。今回は、防災備蓄食について考えました。つい先のばしにしてしまいうようなこと、こういう機会があると集中して向き合えるので我が家には、目覚めるような強くなるかなと思います。

検定の合格だけでなく、調べたことや取り組んだことに賞をいただけて娘には励みとなり、今年もチャレンジしつよくなりました。そして、再び受賞したことでもうワンステップ上を目標に掲げ、防災に取り組む思いを新たにもてようです。ありがとうございました。



# 東京都目黒区立目黒中央中学校 2年

## 徳永 茜音さん

今回、調べて分かったことは、避難場所より家の方が安全かもしれないという事です。また、必ず安全と思っていた場所でもテリットが存在していると気付けたので、これから、決めつけないようにしようと思いました。

### 保護者様の声

日々の生活の中では、なかなか時間を取って家族と防災について考えることはありませんが、今回、こうした検定の機会にゆくりと災害時を想定した意見交換を持つてたことは、とても良かったと感じています。いつ起こるか分からないからこそ、日頃から備えておくことはとても大切だと実感しました。







# 学研教室 戸出東部教室（富山県高岡市）



## 澤田 江梨華さん（中学2年）

## 酒井 愛凜さん（中学1年）

都道府県名 富山県 名前 澤田 江梨華 学校・学年 戸出中学校 2年生

この度は、家族防災特別賞、成績優秀賞、防災自由研究優秀賞の3つもの賞をいただきありがとうございます。

今回の防災検定を通して家族で防災について学ぶ機会を知ることができ、防災知識（自衛、公助、共助）について学ぶことができました。

災害の99%は自衛で防げる、1人でも99%の防災を知ることができると知り、増えることを願っています。

都道府県名 富山県 名前 酒井 愛凜 学校・学年 富山県高岡市立戸出中学校 1年生

防災検定を受けるまでは、知らなかった防災についての知識をたくさん学ぶことができ、防災についての意識も高まり受けてよかったと思いました。今後は、今回学んだ知識を生かして災害が起きてもしっかり正しい行動をとり、命を守りたいです。

### 保護者様の声

この度は、家族防災特別賞、成績優秀賞、防災自由研究優秀賞の3つもの賞をいただき、とても驚いています。

一生懸命に調べ物をして書いていたのが、これだったと後でわかりました。

富山県は全国に比べて自然災害は少ないと思いきや、実際にはいつ起るか分からない災害に備えて準備が必要であることへの機会に家族で確認することができました。

合格証とあわせて4枚大切に飾ってあります。ありがとうございます。



### 保護者様の声

私の子供の頃より、明らかに自然災害が増えたのを感じます。これからの時代を生きていく子供達に、災害についてしっかりと学び、いざという時に自身の生命を守るべく、基礎的な知識を身に付けてくれたことを嬉しく思います。家庭内で防災意識が高まるきっかけになりましたので、良い機会をありがとうございました。

頂き





# 和歌山県広川町立南広小学校 6年

## 田辺 ひかりさん

浜口コジエウさんの町に生まれ、小さい頃から防災のことを学んできたので成績優秀賞をいただき、すごくうれしかったです。これから防災について家族で話し合い、命を守るための大切さをかたどってすごしたいと思います。

### 保護者様の声

この度は、成績優秀賞をいただき誠にありがとうございます。  
*表彰して*

防災意識の高い町で、生まれ育ち、子供達も自然と日頃より、家族で話し合い機会も多いです。

*おかげ様で*

日々の心がけや、訓練が、いざという時に命を守る事が出来ると思っております。今後も意識を高く通じていきます。

# 和歌山県広川町立広小学校 6年

## 白倉 悠成さん



百世の安堵を因り  
濱口梧陵と「稲むらの火」

家族防災会議報告で書いたソーラークッカーは、日光の熱で湯をわかすことができると矢張り、とても興味を持ちました。震災は何が起るかわかりません。ガスや電気、水道などのライフラインがとぎれてしまうことがあります。でもこのソーラークッカーを使えば、ライフラインが止まったとしても湯をわかすことができ、便利だなと思いました。これはあくまで応急措置なので、過半数リュックの中には、食料や水を備蓄したいです。

### 保護者様の声

防災意識の高い地域に住んでいますが、日々の忙しさの中で、災害に対する危機感が薄れてしていました。ジュニア防災検定をきっかけに、災害がおこった時、自分はどう行動するのか、避難場所までの経路は安全か、など家族で再確認するいい機会になりました。これからも「普段の備え」と「地域の人々との助け合い」を大切にしていきたいと思っております。



# 茨城県稲敷市立あずま北小学校5年



## 藤枝 美織さん



私は、東日本大震災を覚えた事がないので、今回初めて防災検定はとてよいと思いました。また大きな地震がきた時どうしたらいいのかわかったの少し安心しました。家族で話し合っ東日本大震災かどれだけ大変か分かった。家族会議はやってよかったと思います。

### 保護者様の声

東日本大震災の経験のない子供が災害に対してどのように認識があるのか、今回の危険から逃れる術の場所というテーマの研究発表を聴かせて頂き、しっかりと避難に対する認識を深めることで良かったのかと思います。特にこれから起こるかもしれない災害に備えて今回のテーマにも取り入れた通り避難行動と避難場所を明確にできたことは子供たちの命を守るという意味で最も大切な勉強だと思っています。



# 東京都荒川区立原中学校 1年

## 鈴木 歩武さん

この度は、家族防災特別賞と防災自由研究優秀賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。私の住んでいる地域は、隅田川が氾濫した場合、浸水する危険性が高いので、これからも、防災について学び、もしも災害が起きた時には、適切な避難行動をするように心がけたいと思います。



### 保護者様の声

今回、初めて防災検定を受験して合格証を頂けるどころか、家族レポートや自由研究まで高く評価して頂きましたこと、望外の喜びでございます。私たち家族の住まいは地震危険度調査で総合危険度が非常に高い地域にあり、また大きな河川が近いので洪水浸水想定区域でもあります。息子が防災部に入部して防災について学び始めたことで、かの東日本大震災直後に感じた恐怖感や危機感を再認識いたしました。これからも家族で災害時にとるべき行動について何度でも話し合いをしていきたいと思っています。

# 山口県山口市立大内中学校 1年

## 岡本 理花さん



私が防災に興味を持った理由は、小学6年生の時にいじめにあい気持ちが抑えられなくなり、その時にできる事はないかと考えた結果、誰かのために行動を移していきたいと思いました。最初は小至我した時の応急処置を調べると身近な人を助けてあげたいと思いAEDや防災にたどり着く事になりました。それから防災について興味が深まり検定を受けたいと思いました。この度はとても貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。



### 保護者様の声

この度は娘に素晴らしい賞を頂きまして感謝しております。娘が辛かった頃は心配でしたが、今となってはピンチをチャンスに生かし気持ちを前向きに、防災について、大変興味関心を持ち始めまして嬉しい限りです。娘が防災に興味を持ってからは、性格も明るくなり、災害について、こんな時はどうする?と解説付きで会話する事もあります。災害はいつ起きてもおかしくありませんので、日頃から知識を高め、今後につなげていきたいと思っております。





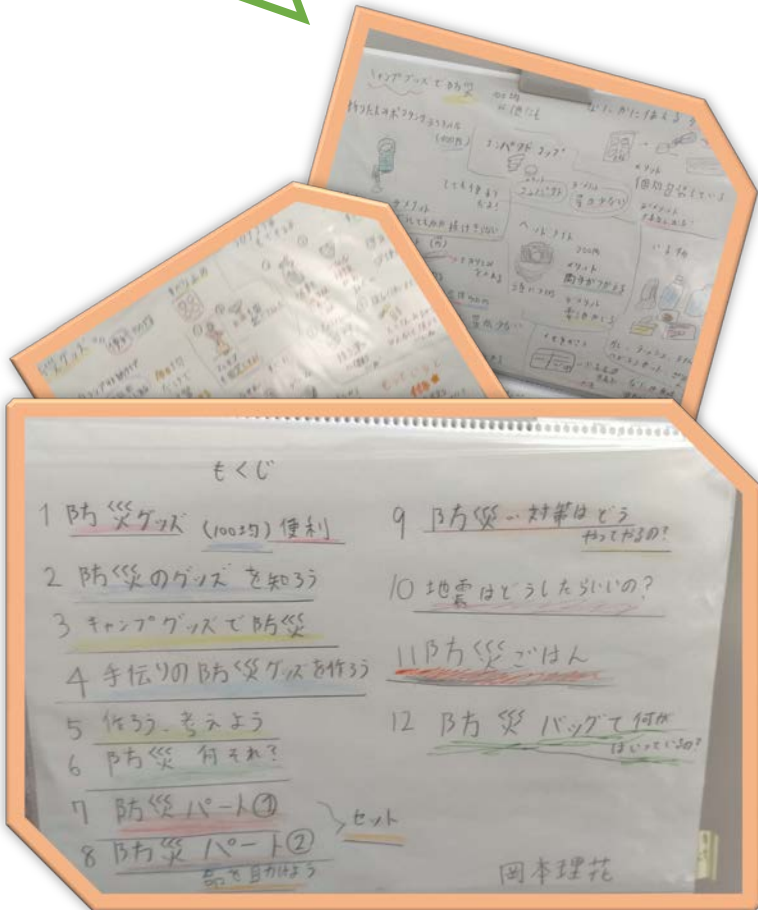
# 防災自由研究作品のご紹介

いろいろな視点で絵図を利用してまとめてある、26ページに及ぶ力作でした。

実際の公衆電話くらいの大きさの作品です。テレホンカードや10円も作ってあります。使い方の練習ができます。



防災救出ベンダーの場所を実際に歩いて調査されています。これはいざという時の為に知っておきたいことです。



- もくじ
- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 防災グッズ (100均) 便利 | 9 防災...対策はどうやって?    |
| 2 防災のグッズを知ろう      | 10 地震はどうしたらいいの?     |
| 3 キャンプグッズで防災      | 11 防災グッズごはん         |
| 4 手伝りの防災グッズを作る    | 12 防災バッグで何かはいてほしいの? |
| 5 作ろう、考えよう        |                     |
| 6 防災 何それ?         |                     |
| 7 防災パート①          | } セット               |
| 8 防災パート②          |                     |
- 岡本理花





**俺のも100が起きたらどうする?**

①きかけ  
自分がこの新聞を作ったきっかけは、この日暮其は、しつどかど何かの「災害」が起きるのではないかと、思ひ自分は何かできることがあるか、考え、それをフローチャートを使って書いてみました。

②災害のフローチャート

③人生背負ってみて

④感想  
この新聞を見て自分災害が起きた日、何かできるか考える良い機会になった。そして自分は背負わねばならない責任があるから、がんばりたいと思ってる(なり)です。これから災害が起きないと思いたいです。

大人じゃなくてもできることを調べてあります。実際にお祖母ちゃんを背負って運べるかの検証が◎

このほかにもいざという時にとても役立つ物が調べてありました。

**調べようと思った理由**

- あらかじめ準備しておけば災害が起こったときにすぐ使用できる状態しておけば被害を最小限に抑えられると考えたから。
- 防災グッズをすべて購入して揃えると高額な出費となってしまうので、手作りで準備できないかと思ったから。
- 身の回りにあるもので作れる防災グッズについて知ること、どこで災害にあっても備えられると考えた。

～手作りできる防災グッズその①～  
**防災スリッパ**

○用意するもの・・・新聞紙

○手順

- 1.新聞紙を十分に切る。
- 2.3分の1くらいを真ん中に向かって折る。
- 3.同じ方向にもう一回折る。裏返す。
- 4.真ん中に向かって3分の1折る。
- 5.反対側も3分の1折る。
- 6.折った片方をもう片方の中に入れる。

**身の回りの物で作れる防災グッズ**

1 - B 29番 信岡

手順通りにつくると上の写真のようになります。新聞紙なので折り具合でサイズ調節もできます。定元のガスなどですがをしないよう、準備しておくともいけません。

令和4年度 防災検定  
**防災自由研究**

研究テーマ  
**原子力発電と放射線**

荒川区立原中学校 1年  
栗原、麻里亜

**原子力発電とは**

原子力発電はウランという燃料で発電しています。原子力発電の利点は少ない燃料で長く発電できることです。一方で、各地に原子力発電所が建設されたため、日本には多くの原子力発電所が稼働しています。しかし、大規模な事故が起これば、多くの原子力発電所は停止しました。

福島第一原子力発電所  
2011年3月に東日本で巨大地震が発生し、福島県に位置する福島第一原子力発電所で、大規模な事故が起きました。原子力発電所では発電の時に大量の放射性物質が発生します。放射性物質が外部にもれれば、長期間にわたって環境を汚染し、健康や生活に影響が出ます。

放射性物質が外部にもれれば、悪影響は...

放射性物質が外部にもれれば、悪影響は...  
放射線による健康被害は、一度に発生した場合は急性障害... 放射線の減少を待つことが必要... などの症状を引き起こすことがあります。

**<放射性物質の種類>**

ヨウ素131 → 体の下にある甲状腺  
セシウム137 → 筋肉など  
ストロンチウム90 → 骨など  
プルトニウム239 → 骨など

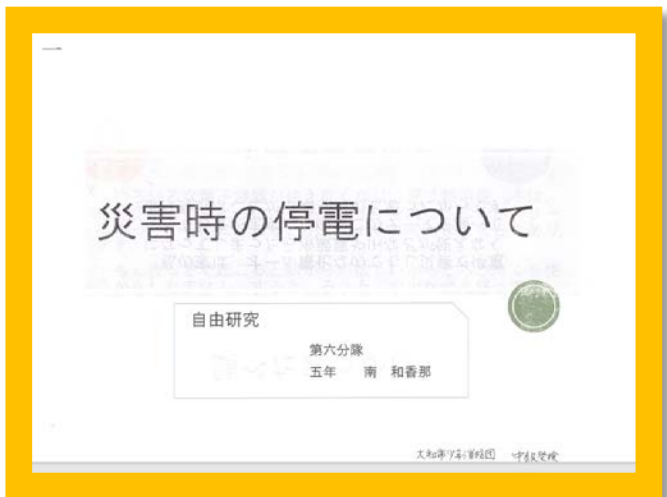
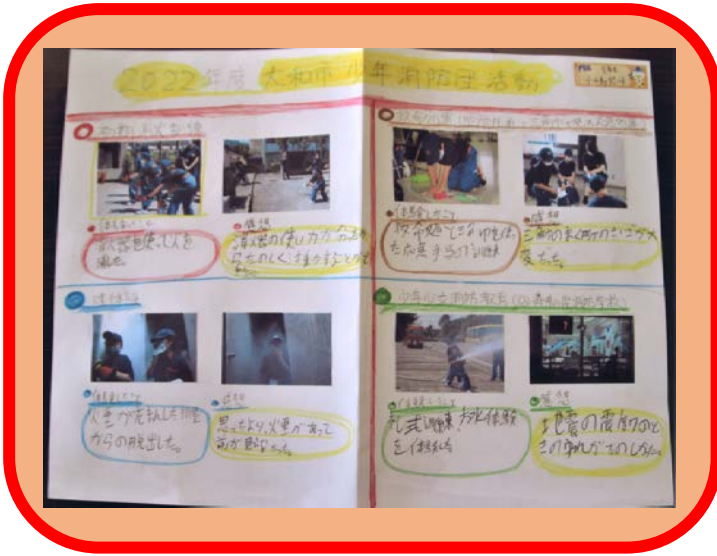
ヨウ素131は体液中に入ると特に危険な物質とされています。放射線による健康被害は、放射線が体に入ると、人体にダメージを与えます。

参考文献  
原子力発電のしくみ  
2019年3月1日  
発行

原子力発電について調べてありました。



# 消防団の皆さんの作品 (一部)



消防士の仕事、消防団の活動を改めて知ることができました。また、レポートは消防団員ならではの内容でした。

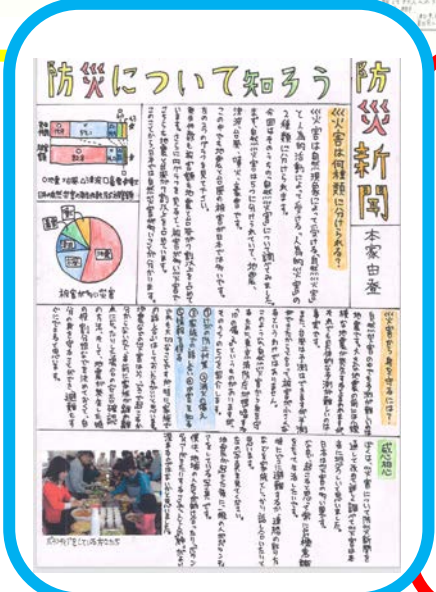
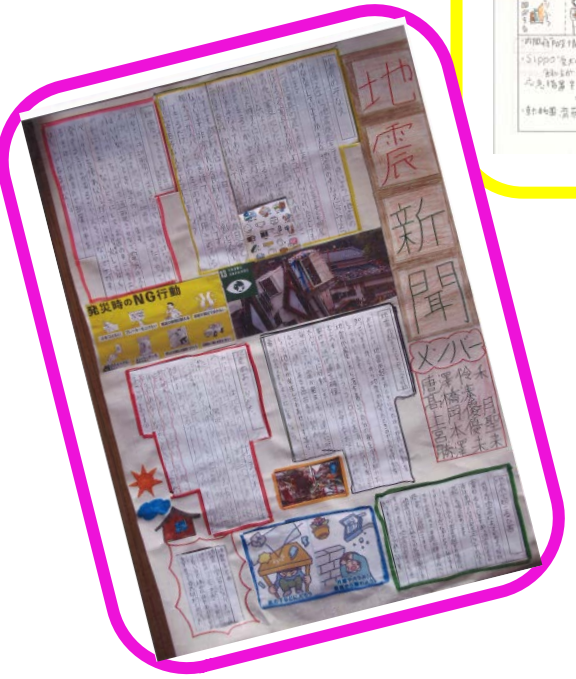
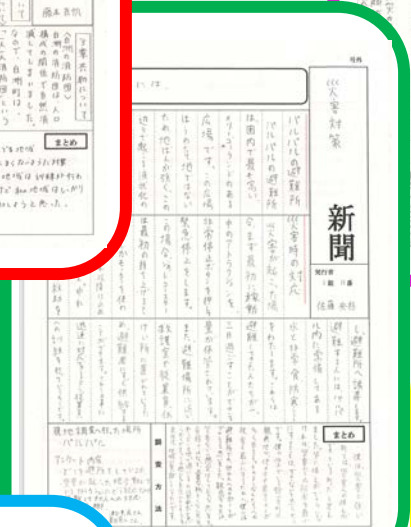
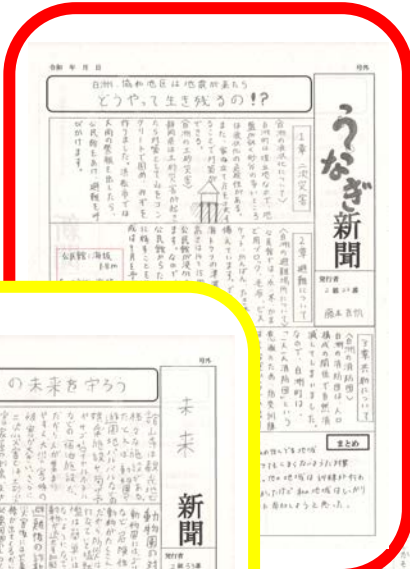
一部しかご紹介できず残念です。





# 新聞作品

新聞は個人作成のものとグループ作成のものがあります。どの作品もとてもよく調べてありました。また実際にインタビュー調査やアンケート調査を行っているものも多数ありました。





# ポスター作品



力作がたくさんありました。ほんの一部しか紹介できなくて申し訳ない思いです。